

# UBS中国A株ファンド (年1回決算型)

愛称：桃源郷

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
設定日	2009年9月18日	
信託期間	2009年9月18日から2029年9月25日	
運用方針	「UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)」および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を図ることを目標とします。	
主な投資対象	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	上海証券取引所および深セン証券取引所のA株を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	UBS短期円金利プラス・マザーファンド受益証券を通じて、または直接わが国のCP (コマーシャル・ペーパー)、政府短期証券、コール市場等の短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行うことにより、短期円金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。 ⑤外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時 (原則として毎年9月25日、休業日の場合は翌営業日。) に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益 (評価損益を含みます。) 等の全額とします。 ②収益分配金額は、分配対象額の範囲で、委託会社が市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益の運用については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき元本部分と同一の運用を行います。	

第13期 運用報告書 (全体版)  
決算日 2022年9月26日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS中国A株ファンド (年1回決算型)」は、去る9月26日に第13期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号  
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部  
03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2022. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 配 分	み 金	期 騰 落 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
9期 (2018年9月25日)	36,082		0	△ 3.2	98.1	6,482
10期 (2019年9月25日)	43,616		0	20.9	93.7	9,978
11期 (2020年9月25日)	53,715		0	23.2	93.5	7,952
12期 (2021年9月27日)	55,772		0	3.8	94.3	23,168
13期 (2022年9月26日)	52,530		0	△ 5.8	99.2	15,550

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
(期 首) 2021年 9月27日	55,772	—	94.3
9月末	57,832	3.7	95.4
10月末	59,767	7.2	98.9
11月末	59,422	6.5	98.9
12月末	61,311	9.9	99.1
2022年 1月末	57,918	3.8	96.0
2月末	57,749	3.5	99.7
3月末	54,837	△1.7	98.8
4月末	51,999	△6.8	99.0
5月末	51,637	△7.4	98.8
6月末	59,980	7.5	99.5
7月末	55,312	△0.8	99.4
8月末	54,217	△2.8	99.8
(期 末) 2022年 9月26日	52,530	△5.8	99.2

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

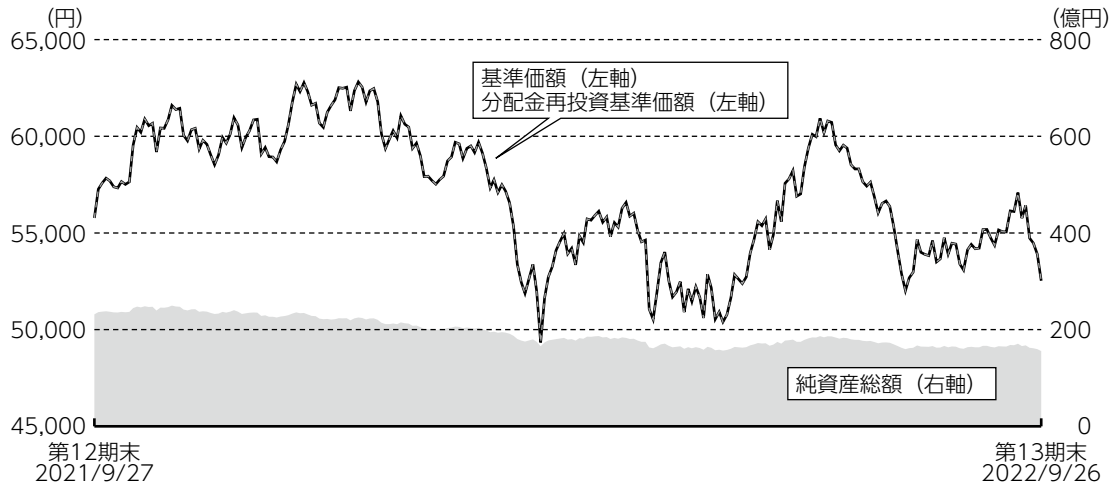
(注3) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

(注4) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について

(2021年9月27日～2022年9月26日)



第13期首：55,772円

第13期末：52,530円（既払分配金 0円）

騰落率：－5.8%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は期首比で3,242円値下がりしました。なお基準価額の騰落率は－5.8%となりました。

## 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、実質組入株式の株価下落や、信託報酬などのマイナス要因が、為替変動（円安・人民元高）などのプラス要因を上回ったことにより値下がりしました。

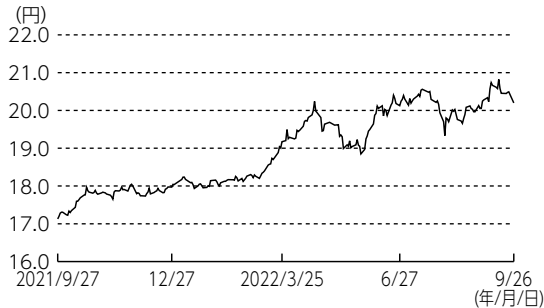
## 投資環境について

当期の中国株式市場は大きく下落しました。

2021年後半は、中国政府・当局による景気対策への期待感などを支えに、中国株式市場は緩やかな上昇基調で推移しました。しかし2022年に入ると、国内の不動産開発会社のデフォルト（債務不履行）懸念などが重石となり、株式市場は下げに転じ、さらに2月終盤、ロシアのウクライナ侵攻とそれに伴う資源価格の高騰などの悪材料が重なり、株式市場は下げ幅を広げました。

5月以降は、中国政府・当局が相次いで景気対策を打ち出したことや、中国人民銀行（中央銀行）による緩和的な金融政策などが下支えとなり、株式市場は幾分回復しました。しかし期の終盤、主要中央銀行の利上げ加速の動きとそれに伴う世界経済の後退観測や、国内では政府の「ゼロコロナ」政策の長期化による同国経済の下振れ懸念のほか、台湾をめぐる米中間の緊張の高まりも嫌気されて、中国株式市場は再び値を崩しました。結果、前期末を大きく下回る水準で期を終えました。

### 人民元／円レートの推移



## ポートフォリオについて

### 当ファンドのポートフォリオについて

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）およびUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、期を通じてUBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）への投資割合は90%以上を維持しました。

### UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）のポートフォリオについて

上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株のうち、各産業セクターを代表する銘柄を中心に投資しました。

#### ●期中の主な動き

##### (1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

金融では、投資先企業の財務悪化やオンライン保険プラットフォームに対する規制強化、国内不動産開発大手の信用不安などの要因が、昨年来の株価下落につながったものの、国内保険市場の構造的な拡大などから中長期的に恩恵を享受する銘柄と位置付ける保険大手の中国平安保険（集団）（ピンアン・インシュアランス）についてポジションを積み増したほか、健全な財務体質と優れたリスク管理能力を誇り、不透明な経済環境下でも確度の高い収益見通しを維持していると考えられる商業銀行の寧波銀行（バンク・オブ・ニンポー）を新規に組み入れたことにより、セクターウェイトを大幅に引き上げました。

##### (2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

なお、上記の金融銘柄に投資するにあたり、通常より厚めに保有したキャッシュを積極的に活用しました。

※業種はGICS分類に準拠しています。

### UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、無利子金融商品やコール・ローン等での運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

## 分配金について

当期は、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配を行わないこととしました。分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項目	第13期
	2021年9月28日~2022年9月26日
当期分配金	-円
(対基準価額比率)	( -%)
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	42,529円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 投資環境の見通し

中国政府は、経済と市場の安定のために、今後も様々な政策支援を打ち出すものと見ています。こうした景気刺激策が年末にかけて効果を発揮し、長い目で見れば経済は再び回復軌道に乗るものと予想されます。ただし、相場は不安定な状況が続いており、投資機会を慎重に見極める方針です。地政学的リスク（米中関係の緊張の高まり）は引き続き、市場のボラティリティを高める要因になると思われます。上場廃止が懸念されていた中国企業の米国預託証券（ADR）については、8月に米中が監査の協力協定を結ぶことで大筋合意に至り、両国の関係には一歩前進が見られました。その一方、技術競争力向上のため、半導体の国内生産の支援などを目的とする「半導体補助金法案」が米国で成立したことや、米国主導で日本や台湾、韓国が参画予定の半導体供給網の枠組み「チップ4」構想が計画されるなど、米国が半導体分野で中国に対する優位性確保に本腰を入れて取り組み始めたことが、両国関係の先行きを一段と予測しにくいものにしてしています。しかし、中国が世界の市場と密接につながっていることを考えると、米中関係が完全に分断される可能性は極めて低いと思われず。一方、中国国内では、10月16日に開幕する中国共産党大会（第20回党大会）に注目が集まっています。一部の投資家は、今後の「ゼロコロナ」政策の行方やどのような経済政策が講じられるかについて、より明確になることを期待しています。政府はすでに、不動産セクター低迷の影響を緩和するため、7-9月期に新たな景気刺激策を相次いで打ち出しています。

市場の回復には当初の想定よりも時間を要していますが、バリュエーションはすでに魅力的な水準まで低下しており、中国株式市場はアクティブ運用の観点で、引き続き大きな投資機会を有していると考えています。当ファンドでは、競争優位性があり質の高い企業を中心に保有しているため、市場参加者の関心が企業のファンダメンタルズとキャッシュフロー創出力に回帰するに連れて、長期的に良好なリターンをもたらすと思われず。

### 当ファンドの今後の運用方針

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の投資比率を高位に維持する方針です。

### UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の今後の運用方針

当ファンドは、銘柄選択を重視しており、長期的な勝ち組となり得る質の高い企業を発掘し、銘柄を厳選して投資を行います。今後もファンダメンタルズが良好な優良銘柄に割安な水準で投資できる機会をうかがいながら、運用を続けてまいります。

### UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

マザーファンドへの投資を通じて、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2021/9/28~2022/9/26		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	704円	1.240%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は56,831円です。
（投信会社）	（187）	（0.329）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（499）	（0.878）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 19）	（0.033）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	11	0.020	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 3）	（0.006）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（ 8）	（0.014）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（ 0）	（0.000）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	715	1.260	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

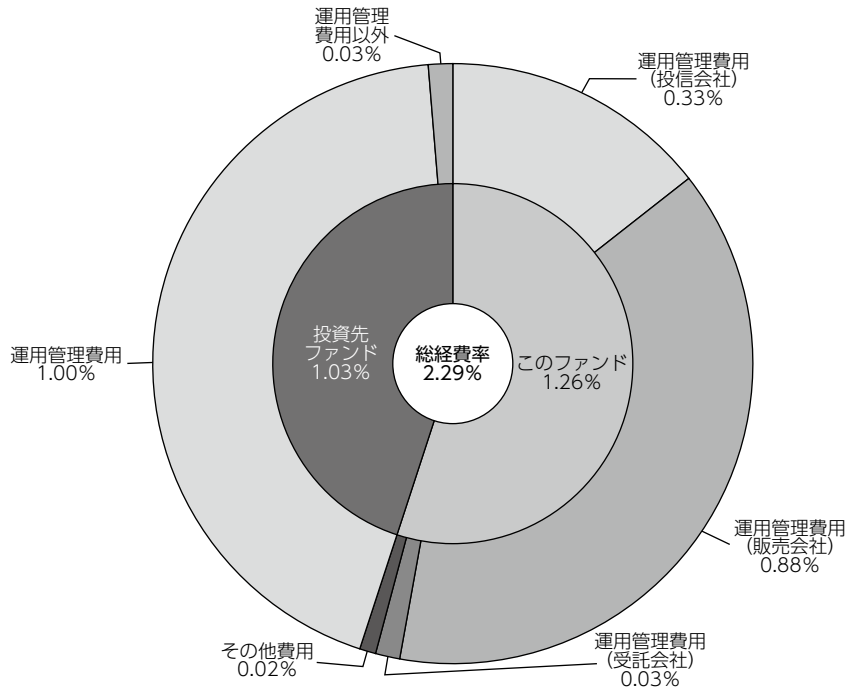
(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## （参考情報） 総経費率



総経費率 (①+②+③)	2.29%
①このファンドの費用の比率	1.26%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.29%です。

**期中の売買及び取引の状況** (自 2021年9月28日 至 2022年9月26日)**投資信託証券**

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 10,759	千円 745,000	□ 98,711	千円 6,712,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

**主要な売買銘柄** (自 2021年9月28日 至 2022年9月26日)**投資信託証券**

買 付			売 付		
銘 柄	□ 数	金 額	銘 柄	□ 数	金 額
UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 10,759	千円 745,000	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 98,711	千円 6,712,000

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

**利害関係人等との取引状況等** (自 2021年9月28日 至 2022年9月26日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

**組入資産明細表** (2022年9月26日現在)**投資信託証券 (邦貨建)**

フ ァ ン ド 名	期 首	当 期		末
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	□ 30,343	□ 30,343	千円 30	% 0.0
UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	336,941	248,988	15,419,637	99.2
合 計	367,284	279,331	15,419,667	99.2

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合。

(2022年9月26日現在)

## 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 30	% 0.0
投 資 証 券	15,419,637	98.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	285,344	1.8
投 資 信 託 財 産 総 額	15,705,011	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年9月26日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	15,705,011,229円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	285,343,864
投資信託受益証券(評価額)	30,124
投資証券(評価額)	15,419,637,241
(B) 負 債	154,017,564
未 払 解 約 金	46,555,031
未 払 信 託 報 酬	105,669,590
未 払 利 息	805
そ の 他 未 払 費 用	1,792,138
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	15,550,993,665
元 本	2,960,402,897
次 期 繰 越 損 益 金	12,590,590,768
(D) 受 益 権 総 口 数	2,960,402,897口
1万口当たり基準価額(C/D)	52,530円

〈注記事項〉

期首元本額	4,154,194,545円
期中追加設定元本額	281,122,626円
期中一部解約元本額	1,474,914,274円
1口当たり純資産額	5.2530円

## 損益の状況

(自2021年9月28日 至2022年9月26日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 313,927円
支 払 利 息	△ 313,927
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 777,778,647
売 買 損 益	399,163,442
売 買 損 益	△ 1,176,942,089
(C) 信 託 報 酬 等	△ 244,976,935
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 1,023,069,509
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 629,094,102
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	14,242,754,379
(配 当 等 相 当 額)	( 10,029,091,456)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 4,213,662,923)
(G) 計 (D+E+F)	12,590,590,768
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	12,590,590,768
追 加 信 託 差 損 益 金	14,242,754,379
(配 当 等 相 当 額)	( 10,029,091,456)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 4,213,662,923)
分 配 準 備 積 立 金	1,024,180,422
繰 越 損 益 金	△ 2,676,344,033

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(11,566,410,346円)および分配準備積立金(1,024,180,422円)より分配対象収益は12,590,590,768円(10,000口当たり42,529円)ですが、分配を行っておりません。

## UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（ケイマン籍外国投資信託）の運用状況

## &lt;参考情報&gt;

当ファンドは「UBS中国A株ファンド（年1回決算型）」が投資対象とする外国投資信託証券です。

ご参考として掲載されている以下の包括利益計算書は、2022年2月28日現在の現地Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。なお、投資有価証券明細表は当該監査の対象外であり、未監査のものを掲載しております。また、同一銘柄でも保管形態が異なる場合には、別個に表記しています。

## 包括利益計算書

2022年2月28日に終了する会計期間  
米ドル

<b>収益</b>	
受取利息	31,732
受取配当金	4,927,316
損益を通じて公正価値で評価する金融資産に係る純利益（損失）	(67,006,140)
為替取引に係る収益（損失）	(895,308)
<b>収益合計</b>	<b>(62,942,400)</b>
<b>費用</b>	
運用管理報酬	2,688,813
保管事務費用	213,620
監査報酬	33,380
役員報酬	32,333
専門家費用	12,976
取引費用	461,278
その他営業費用	138,006
<b>営業費用合計</b>	<b>3,580,406</b>
<b>税引前営業利益（損失）</b>	<b>(66,522,806)</b>
配当金に係る源泉税	(496,033)
<b>税引後営業利益（損失）</b>	<b>(67,018,839)</b>
償還可能証券保有者に帰属すべき純資産増加額（減少額）	(67,018,839)

2022年2月28日現在の投資有価証券明細表 (未監査)

	銘柄名	数量	簿価 (米ドル)	時価 (米ドル)
株式				
中国元				
	LUXSHARE PRECISION INDUSTRY CO LTD A-SHARES ORD CNY 1	1,028,999	8,550,993.60	7,081,139.68
	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP COMPANY LIMITED A SHARES	1,911,904	11,922,452.44	11,972,404.92
	PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	345,484	756,728.05	862,197.73
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	266,689	2,716,783.11	2,144,989.12
	YIBIN WULIANGYE COMPANY LIMITED SHARE A	332,800	14,154,280.36	10,019,251.93
	YIBIN WULIANGYE COMPANY LIMITED SHARE A	20,116	379,526.51	605,610.80
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	1,521,783	25,182,136.30	21,761,975.55
	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	566,764	2,682,496.00	3,302,130.74
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	124,782	721,462.25	750,149.20
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	12,490	1,985,849.55	3,543,324.17
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	412,157	2,074,213.40	3,252,298.52
	ANGEL YEAST CO LTD A ORD CNY1.00000000	1,065,249	8,000,822.58	8,422,675.32
	LUZHOU LAOJIAO CO LTD A SHS ORD CNY1	191,800	6,636,745.43	6,582,720.79
	JOEONE CO LTD -A SHRS ORD CNY1	1,638,133	4,394,860.51	3,119,981.41
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	37,866	396,759.85	240,478.09
	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	263,511	2,212,404.69	1,535,291.20
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	23,902	346,091.49	341,806.12
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	2,508,400	29,260,521.39	20,175,150.59
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	552,377	4,375,934.42	5,839,692.81
	HUALAN BIOLOGICAL ENGINEERING INC A SHS ORD CNY1	740,147	5,188,620.12	3,014,043.29
	PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	8,515,969	24,828,221.77	21,252,646.04
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	2,470,865	19,592,334.48	19,497,401.68
	LUXSHARE PRECISION INDUSTRY CO LTD A-SHARES ORD CNY 1	624,378	3,101,366.53	4,296,707.61
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	1,752,240	18,315,750.50	11,128,065.71
	WANHUA CHEMICAL GROUP CO LTD A SHS ORD CNY1	776,515	13,542,018.18	11,664,243.20
	SHENZHEN YUTO PACKAGING TE-A ORD CNY1	1,359,990	6,116,278.07	6,266,549.82
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	471,552	2,917,425.18	2,834,818.75
	WUXI APPTec CO LTD A SHRS ORD CNY1	135,486	3,000,951.12	2,231,175.48
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	826,857	9,947,538.49	8,741,477.12
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	66,600	20,144,983.11	18,893,946.32
中国元合計			<u>253,446,549.48</u>	<u>221,374,343.71</u>
株式合計			<u>253,446,549.48</u>	<u>221,374,343.71</u>
総合計			253,446,549.48	221,374,343.71

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

## 参考情報

当ファンドは、UBS中国A株ファンド（年1回決算型）が投資対象とする国内投資信託証券です。  
ご参考として第13期決算日（2022年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
				比	比	
9期（2018年1月22日）	円 9,997	円 0	% △0.1	% —	% —	百万円 40
10期（2019年1月21日）	9,982	0	△0.2	—	—	40
11期（2020年1月20日）	9,967	0	△0.2	—	—	40
12期（2021年1月20日）	9,953	0	△0.1	—	—	15
13期（2022年1月20日）	9,938	0	△0.2	—	—	8

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2021年 1月20日	円 9,953	% —	% —	% —
1月末	9,952	△0.0	—	—
2月末	9,951	△0.0	—	—
3月末	9,950	△0.0	—	—
4月末	9,949	△0.0	—	—
5月末	9,948	△0.1	—	—
6月末	9,947	△0.1	—	—
7月末	9,946	△0.1	—	—
8月末	9,944	△0.1	—	—
9月末	9,943	△0.1	—	—
10月末	9,942	△0.1	—	—
11月末	9,941	△0.1	—	—
12月末	9,940	△0.1	—	—
(期 末) 2022年 1月20日	9,938	△0.2	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 分配原資の内訳（1万口当たり・税引前）

項目	第13期	
	2021年1月21日～2022年1月20日	
当期分配金	-円	
（対基準価額比率）	（-％）	
当期の収益	-円	
当期の収益以外	-円	
翌期繰越分配対象額	75円	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2021/1/21～2022/1/20		
	金額	比率	
信託報酬	4円	0.044%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,946円です。
(投信会社)	(1)	(0.011)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.032)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	4	0.046	

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況（自 2021年1月21日 至 2022年1月20日）

	設		解	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	20	20	7,000	7,000

(注) 単位未満は切り捨て。

## 利害関係人等との取引状況等（自 2021年1月21日 至 2022年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

## 組入資産明細表

## 親投資信託残高

(2022年1月20日現在)

項目	期首		期末	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	15,588		8,608	8,602

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## 投資信託財産の構成

(2022年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千円 8,602	% 99.8
コール・ローン等、その他	15	0.2
投資信託財産総額	8,617	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,617,321円
コール・ローン等	14,383
UBS短期円金利プラス・マザーファンド(評価額)	8,602,938
(B) 負 債	1,953
未払信託報酬	1,866
その他未払費用	87
(C) 純資産総額(A-B)	8,615,368
元 本	8,668,768
次期繰越損益金	△ 53,400
(D) 受益権総口数	8,668,768口
1口当たり基準価額(C/D)	9,938円

〈注記事項〉

期首元本額 15,687,365円  
 期中追加設定元本額 20,116円  
 期中一部解約元本額 7,038,713円  
 1口当たり純資産額 0.9938円  
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は53,400円です。

## 損益の状況

(自2021年1月21日 至2022年1月20日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 6,803円
売 買 益	3,497
売 買 損	△ 10,300
(B) 信託報酬等	△ 5,413
(C) 当期損益金(A+B)	△ 12,216
(D) 前期繰越損益金	△ 44,285
(E) 追加信託差損益金	3,101
(配当等相当額)	( 4,222)
(売買損益相当額)	(△ 1,121)
(F) 計 (C+D+E)	△ 53,400
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 53,400
追加信託差損益金	3,101
(配当等相当額)	( 4,221)
(売買損益相当額)	(△ 1,120)
分配準備積立金	60,965
繰越損益金	△117,466

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,221円)および分配準備積立金(60,965円)より分配対象収益は65,186円(10,000口当たり75円)ですが、分配を行っておりません。



## UBS短期円金利プラス・マザーファンドの運用状況

## 参考情報

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ご参考として、第13期決算日（2022年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

## UBS短期円金利プラス・マザーファンド

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
			比	比	
9期（2018年1月22日）	円 10,035	% △0.1	% —	% —	百万円 40
10期（2019年1月21日）	10,025	△0.1	—	—	40
11期（2020年1月20日）	10,014	△0.1	—	—	40
12期（2021年1月20日）	10,004	△0.1	—	—	15
13期（2022年1月20日）	9,994	△0.1	—	—	8

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2021年 1月20日	円 10,004	% —	% —	% —
1月末	10,004	0.0	—	—
2月末	10,003	△0.0	—	—
3月末	10,002	△0.0	—	—
4月末	10,002	△0.0	—	—
5月末	10,001	△0.0	—	—
6月末	10,000	△0.0	—	—
7月末	9,999	△0.0	—	—
8月末	9,998	△0.1	—	—
9月末	9,997	△0.1	—	—
10月末	9,997	△0.1	—	—
11月末	9,996	△0.1	—	—
12月末	9,995	△0.1	—	—
(期 末) 2022年 1月20日	9,994	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

### 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

### 期中の売買及び取引の状況（自 2021年1月21日 至 2022年1月20日）

該当事項はありません。

### 主要な売買銘柄（自 2021年1月21日 至 2022年1月20日）

該当事項はありません。

### 利害関係人等との取引状況等（自 2021年1月21日 至 2022年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

### 組入資産明細表（2022年1月20日現在）

2022年1月20日現在、有価証券等の組入はありません。

## 投資信託財産の構成

(2022年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 8,603	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	8,603	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,603,221円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	8,603,221
(B) 負 債	24
未 払 利 息	24
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,603,197
元 本	8,608,103
次 期 繰 越 損 益 金	△ 4,906
(D) 受 益 権 総 口 数	8,608,103口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	9,994円

〈注記事項〉

期首元本額 15,588,797円  
 期中追加設定元本額 20,007円  
 期中一部解約元本額 7,000,701円  
 1口当たり純資産額 0.9994円  
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は4,906円です。

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) 8,608,103円

## 損益の状況

(自2021年1月21日 至2022年1月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△12,393円
支 払 利 息	△12,393
(B) 当 期 損 益 金(A)	△12,393
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	6,793
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 7
(E) 解 約 差 損 益 金	701
(F) 計 (B+C+D+E)	△ 4,906
次 期 繰 越 損 益 金(F)	△ 4,906

(注1) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。